

職業実践専門課程 学校関係者評価委員会

日 時 令和6年3月11日（月） 9時半～11時半

場 所 平成福祉専門学校

学校関係者評価委員

委員条件	氏名	所属先	役職
専門分野における 業界関係者	藤村 桂子	社会福祉法人山寿会 特別養護老人ホーム 湯の里	副施設長
保護者又は地域住民	矢野 雅章	障害者支援施設 あじさい園	
高等学校等の校長及び 進路指導担当者等	野中 さゆり	元公立高等学校教諭 (進路部長)	
地域の地方公共団体等 の関係者	半田 雅典	高知県社会福祉協議会 総合人材センター	所長
卒業生	長田 梢	楽リハ デイサービス センター高知杉井流	相談員
	筒井 あおい	在宅介護センター わかくさ	ケアワーカー
学校職員	福井 毅	平成福祉専門学校	校長
	野村 晃江		教務主任

※上記委員のうち、1名は職務の為、1名は体調不良の為欠席

会議内容【会次第】

1、校長挨拶

2、委員自己紹介

3、本校の概要報告

(1) 学校の体制

常勤教職員：7名、バス運転手3名 非常勤講師：11名

※今年度から法人内異動により、新たに2名教員を迎えた。

(2) 在籍状況

入学年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
入学生数	39名	35名	36名	43名	32名	23名	25名	23名
卒業年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
卒業生数	34名	31名	33名	38名	29名	20名	21名	

※退学者の理由は、進路変更、体調不良など。担任を中心にして複数の教員が本人、保護者との面談を重ね対応している。

(3) 国家試験の結果

受験年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
受験率	97.3%	100%	100%	100%
合格率 (全国)	75.6% (77.8%)	89.2% (72.3%)	95% (81.7%)	

※秋頃の模試では合格圏外の学生が多い。授業を前倒しにして、後期に重点的に国試対策を実施している。不合格になった学生も数点足らずで、健闘していた。不合格になった学生には模試等の案内をし、フォローしている。

(4) 教育関係

○教育課程一覧 資料1

(取得資格) 手話検定4級

ケア・コミュニケーション検定※

福祉住環境コーディネーター3級※

レクリエーション・インストラクター (希望者のみ)

※印は、今年度から新たに受験の取り組みをしている。2年次の授業を通して受験対策を講じている。

○各教科の担当教員報告 資料2

○年間行事予定

・介護福祉実習

1年生

(第1段階介護福祉実習)

在宅(同法人): ①7/18~20、②7/21、24、25、③7/6~28

施設(他法人): 10/16~26

(第2段階介護福祉実習)

3週間(他法人): 1/29~2/21

2年生（第3段階介護福祉実習）

2週間（他法人）：6/8～6/23

3週間（同法人）：①7/3～26 ②7/31～8/23

・自治会活動

感染対策を講じながら3回実施（対面式、校内外交流会）

（5）その他

・スクールバス 《東便8人 西便6人》

・学生寮 《東寮6名 西寮13名》

・初任者研修

城山高校6名中5名修了、春野高校19名修了、集合型15名中14名修了

・実務者研修

20名中19名修了

4、学校評価実施報告

質	問	1年	2年
①あなたは学校に満足していますか	満足している	10	10
	どちらかといえば満足している	10	6
	あまり満足していない	1	2
	満足していない	1	0
②①で「あまり満足していない」「満足していない」と答えた理由	教育活動が偏っている	0	0
	学校が楽しくない	2	0
	相談しにくい雰囲気がある	1	1
	生活や進路の指導が十分でない 施設・設備が十分でない	0	1
③学校は学ぶための組織や環境が整備されていると思いますか	そう思う	16	11
	ややそう思う	6	5
	あまりそう思わない	0	2
	そう思わない	0	0
④学校を一層良くするため意見や要望	・イベントを増やす ・行事を増やす ・1年と2年との交流を増やす取り組み		

5、教科別評価報告

資料3

6、質疑応答ならびに意見交換

- 高卒人口の減少と、大学進学者の増加などから、特に専門学校のだ員割れが大きな課題となっている為、介護職に対するマイナスのイメージを払拭する必要がある。
- 介護現場の現状や専門学校の現状は外からではわからない為、このような機会に参加できて良かった。
- 個別の特性を持った学生が増えている状況の中で、国試合格 100%に向けての取り組みと結果は評価できる。
国試合格はもちろんだが、生活を支援する者の育成に注力する必要がある。感染対策を講じながら、より多くの現場経験や学校内での体験学習を通して感性を磨き、より専門性の高い介護福祉士の養成が必要である。
- 学校で取得できる資格や取り組みが増えており、学生にとってはより深い学びができていると感じる。

別表第一（第9条関係）

資料1

介護福祉学科教育課程

区分	科 目	時間数	単位	履 修 期 間			
				1 年 生		2 年 生	
				前期	後期	前期	後期
人 間 と 社 会	人間の尊厳と自立（講義）	30	2		○		
	人間関係とコミュニケーション（講義）	60	4			○	
	社会の理解Ⅰ（講義）	30	2	○			
	社会の理解Ⅱ（講義）	30	2		○		
	音楽（演習）	30	1	○			
	日本語表現Ⅰ（講義）	30	2	○			
	日本語表現Ⅱ（講義）	30	2		○		
	地域福祉論Ⅰ（演習）	30	1			○	
	地域福祉論Ⅱ（演習）	30	1				○
介 護	介護概論A（講義）	60	4	○			
	介護概論B（講義）	30	2		○		
	介護概論C（講義）	30	2			○	
	リハビリテーション論（講義）	30	2			○	
	災害救護（演習）	30	1				○
	コミュニケーション技術A（演習）	30	1	○			
	コミュニケーション技術B（演習）	30	1		○		
	生活支援技術A（家政学・講義）	30	2	○			
	生活支援技術B（住環境・演習）	30	1				○
	生活支援技術C（調理・演習）	30	1			○	
	生活支援技術D（被服・演習）	30	1				○
	生活支援技術EⅠ（介護技術・演習）	60	2	○			
	生活支援技術EⅡ（介護技術・演習）	30	1		○		
生活支援技術FⅠ（聴覚、言語・演習）	30	1		○			

区分	科 目	時間 数	単 位	履 修 期 間			
				1 年 生		2 年 生	
				前 期	後 期	前 期	後 期
介 護	生活支援技術 F II (聴覚、言語・演習)	30	1			○	
	生活支援技術 G (知的、肢体、重複、演習)	30	1			○	
	生活支援技術 H (視覚・演習)	30	1				○
	介護過程 A (演習)	30	1	○			
	介護過程 B (演習)	30	1		○		
	介護過程 C (演習)	30	1			○	
	介護過程 D (演習)	30	1				○
	介護過程 E (演習)	30	1				○
	介護総合演習 A (演習)	30	1	○			
	介護総合演習 B (演習)	30	1	○			
	介護総合演習 C (演習)	30	1		○		
	介護総合演習 D (演習)	30	1			○	
	介護福祉実習 (実習)	450	10	○	○	○	
こ こ ろ と か ら だ の し く み	発達と老化の理解 I (講義)	30	2	○			
	発達と老化の理解 II (講義)	30	2		○		
	認知症の理解 I (講義)	30	2		○		
	認知症の理解 II (講義)	30	2			○	
	障害の理解 I (講義)	30	2		○		
	障害の理解 II (講義)	30	2			○	
	こころとからだのしくみ I (講義)	30	2	○			
	こころとからだのしくみ II (講義)	30	2		○		
	こころとからだのしくみ III (講義)	30	2			○	
	こころとからだのしくみ IV (講義)	30	2				○
	医療的ケア I (講義)	30	2			○	
	医療的ケア II (講義)	38	2				○
		1,958	85				

令和5年度 教員別担当・持ち時間 (科目)

宮本直樹	授業回数/週				時間数	単位	
	1年		2年				
	前期	後期	前期	後期			
科目							
介護総合演習A	1				30	1	
介護総合演習B	1				30	1	
介護総合演習C		1			30	1	
人間の尊厳と自立		1			30	2	
人間関係とコミュニケーション			2		60	4	※西尾先生と兼務
介護概論A(講義)	2				60	4	
介護概論B(講義)		1			30	2	
介護概論C(講義)			1		30	2	
	4	3	3	0	300	17	

和田理砂	授業回数/週				時間数	単位	
	前期		後期				
	前期	後期	前期	後期			
科目							
介護総合演習D			1				
生活支援技術D				1	30	1	※西尾先生と兼務
社会の理解 I (講義)	1				30	2	
社会の理解 II (講義)		1			30	2	
医療的ケア(講義)			2		68	4	
医療的ケア(基本研修)				1			喀痰 経管
生活支援技術B(住居)				1	30	1	
こころとからだのしくみ I (講義)	1				30	2	
こころとからだのしくみ II (講義)		1			30	2	
こころとからだのしくみ III (講義)			1		30	2	
こころとからだのしくみ IV (講義)				1	30	2	
	2	2	4	4	308	18	

西尾優介	授業回数/週				時間数	単位	
	前期		後期				
	前期	後期	前期	後期			
科目							
人間関係とコミュニケーション			1				※宮本先生と兼務
介護総合演習D			1		30	1	
認知症の理解 I		1			30	2	
介護過程A(演習)	1				30	1	
介護過程B(演習)		1			30	1	

介護過程C(演習)			1		30	1	
介護過程D(演習)				2	30	1	
介護過程E(演習)				2	30	1	
	1	2	3	4	210	8	

科目	授業回数/週				時間数	単位	
	前期	後期	前期	後期			
介護総合演習A	1						
介護総合演習B	1						
介護総合演習C		1					
コミュニケーション技術A(演習)	1				30	1	
コミュニケーション技術B(演習)		1			30	1	
生活支援技術A(家政学・講義)	1				30	2	
生活支援技術E I、E II(介護技術・演習)	2	1			90	3	
生活支援技術H(視覚 演習)				※1	※30	※1	金平先生の補助
生活支援技術G(知的・肢体・重複障害・演習)			1		30	1	資格を取るため 45 時間
地域福祉論 I、II			1	1	60	2	
	6	3	2	1	270	10	

音楽	汲田幸世	1				30	1	
日本語表現 I、II(講義)	岡村真雄	1	1			60	4	
リハビリテーション論	岡部孝生			1		30	2	
災害救護(演習)	土居清彦				1	30	1	
生活支援技術C	西村佳菜子			1		30	1	
生活支援技術H	金平景介				2	30	1	
生活支援技術F I	前田真紀		1			30	1	
生活支援技術F II	前田真紀			1		30	1	
介護福祉実習						450	10	
認知症の理解 II	荒牧花菜			1		30	2	
発達と老化の理解 I	林佳代	1				30	2	
発達と老化の理解 II	林佳代		1			30	2	
障害の理解 I	大坪奈緒		1			30	2	
障害の理解 II	笠原由紀			1		30	2	
		3	4	5	3	870	32	
						1,958	85	

※網掛け 令和5年度から講師依頼

